

鑄造銘板 仕上方法

仕上方法

【研 磨】

■ バフ仕上(鏡面)

鏡のように光沢が出るよう研磨する仕上げ方法。バフ仕上げ、ミラー仕上げともいう。

■ ヘアライン仕上

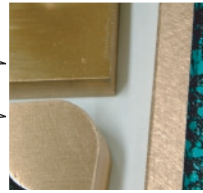
連続的に一方向に研磨する仕上げ方法。細線(髪の毛状)の研磨目が付く、最も多く用いられる仕上げ。

■ ランダム仕上

不規則に研磨する仕上げ方法。細かく短い線が重なった研磨目が付く。

バフ仕上(鏡面) →

ヘアライン仕上 →



← ランダム仕上

【表面処理】

■ 本緑青仕上



るくしょう
ブロンズ製品に銅錆どうさびである緑青を薬品を用いて発生させるアンティークな趣向を表現する仕上げ方法。

■ 銅古美仕上



ブロンズ製品に薬品を用いて強制発色させて銅古美色にする仕上げ方法。

■ 金箔仕上



加賀金箔を職人による箔押し技術で仕上げたもの。長年、黄金色を保つことができる。

■ 塗装仕上



プライマーによる下処理後、アクリル樹脂塗料等で塗装する仕上げ方法。

【メッキ加工】

■ 装飾を目的としたもの。

ホワイトブロンズ (銅合金素地にニッケルメッキを施したもの、シルバー色)
金メッキ , 真鍮メッキ , クロームメッキ (シルバー色)

■ 防食、防錆を目的としたもの。

溶融亜鉛メッキ



(鉄鋼の防食、防錆として用いる。大気中、水中、土中、コンクリート中でも優れた耐食性を示す。皮膜厚さ、形状精度、表面粗さ等 外観は劣るため、装飾用には適さない。)